

# 愛の便り

校訓: 志が人生を創る

雲仙市立愛野中学校 学校便り  
令和6年 9月27日  
第98号  
文責 (校長; 末永栄喜)



## 暑さ寒さも彼岸まで

大陸へ過ぎ去ろうとしていた台風がこの言葉思い出したのか、思わずUターンして日本列島へ近づいた先週末でした。これを境に湿度も下がり、直前までの猛暑に終止符が打たれたようです。待ち望んでいた秋がようやくそこまで来ているようですね。ただ、能登半島では大雨による甚大な被害をもたらしています。心を痛めるばかりです。お悔やみとお見舞いを申し上げます。



さて、駅伝チームも先週末の金曜日に試走を終え、順調な仕上がりを見せています。炎天下の中を走り続けた成果を発揮してほしいところです。来週2日(水)の本番まであと一週間を切りました。これからはコンディションを整えることも大事な要素になります。励ましの声掛けもよろしくお願いします。

大会に向けて、昨日は全校で激励式を行いました。総勢51名の日焼けした顔が並びました。走力にはもちろん個人差がありますが、全員が厳しい練習に耐えてこの場に立っているんだという自負と自信がみなぎっていました。

ところで、駅伝競技は日本が発祥であることはご存知だと思います。もはや「EKIDEN」は世界中に周知されている競技ですね。では、陸上競技としての正式名をご存知ですか。世界陸連では「Road relay」(Marathon relay)と名付けています。



国際大会から地方大会までその規模は様々で、一人一人が走る区間の距離は大会によっても大きく違います。ましてや、中学校駅伝大会は2km、3km。とてもマラソンと言うには程遠い距離です。

しかし、皆さんも知っている通り、**駅伝部がこれまで走り込んだ延べ距離は、マラソンをはるかに上回る距離です。**しかも、真夏の炎天下の中での走り込み。これには毎年のように頭が下がります。これまで本当によく頑張りました。ただひたすら襷をかけて走るだけの競技ですが、とても奥深いスポーツだと思います。自分の責任を果たす。仲間の思いを背負う、運ぶ、つなげる。これまでの集大成をぶつける。

これまで走ってきた距離の何百・何千分の一しかありませんが、練習の成果を凝縮した中身の濃い距離と時間にしてほしいと願っています。学校代表として、苦しい練習に耐えてきた仲間の思いが走りに表れるように、全員で応援しましょう。勇気と力を受け、そして与えようではないか。

同時に、校内からは昼休みや帰りの会時に歌声が聞かれるようになりました。1か月後に迫った合唱コンクールに向けた各学級の自主練習です。こちらは声量・音程にしても男声・女声の調和にしても、まだまだレベルアップが求められます。本番までの歌い込みで、どんな成長がみられるか楽しみです。



## 本校吹奏楽部 第2回定期演奏会 終演

連休初日の土曜日、愛の夢未来センター(大ホール)にて盛会に終えることができました。



この時期に2回目を開催した(できた)ことは、大変有意義でした。まずは、初回、いわゆる立ち上げは勢いも手伝ってその口火を切ることができました。しかし、この2回目は次につながる大事な位置づけがあると思うのです。先ほど「勢い」と言いましたが、打ち上げ花火のようにその時・その場限りの盛り上がりで終わってしまうという危険性もあります。隔年越しの開催という選択をせず、今年も開催したということは来年も開催しなければいけないというプレッシャーも付いて回ります。スタッフも代替わりした中で、その選択をしたということに大きな意義があります。

次に、今年度は9月とあって、コンクールの流れで3年生がその延長上に参加できたことです。おかげで、最後の花道を飾ることができ、万感の思いを込めた演奏を聴くことができました。きっと、受験勉強に集中して励むことでしょう。

今後も回を重ね、将来的には吹奏楽部OB・OGも加わればなお一層、華やかになることでしょう。3年生が退いた後は部員も少なくなってしまうかもしれませんが、吹奏楽部のますますの活躍を期待しています。

たくさんのご来場ありがとうございました。

## 表彰・伝達

※昨日の生徒集会では時間不足のため、全校生徒の前ではできませんでしたのでここで紹介します。

### ◆第42回 諫早市少年柔道大会(9月8日)

○中学生男子60kg級

優勝 佐藤尋太

// 男子73kg級

第3位 吉田朱鷺也

○中学生女子軽量級

優勝 南 楓花



### ◆第17回 雲仙市民スポーツ大会(9月15日)

柔道競技 第2位 愛野中学校 A チーム

### ◆第40回 柔整旗争奪長崎県女子柔道大会(9月22日)

○女子個人48kg以下級 準優勝 南 楓花

### ◆第43回 柔整旗争奪少年柔道大会 新人の部(9月22日)

○男子個人50kg超級 優勝 吉田朱鷺也

### ◆第52回 長崎県ジュニア陸上競技選手権大会(9月23日)

○女子 B クラス 1500m

第6位 松本 さえ (記録5分25秒86) ※自己新